

令和6年1月31日

安中市長 岩井 均 様

安中市総合計画審議会

会長 小竹 裕人

第3次安中市総合計画について（答申）

令和5年5月29日付け安政第045005号で諮問のありました、第3次安中市総合計画に関する事項について、当審議会において参加した委員より積極的な発言をいただき、慎重に調査審議を重ねた結果、これから8年かけて目指すまちづくりの指針として、おおむね適切かつ適当であると認めます。なお、計画の推進にあたっては、まちの将来像である「住んで良かった 豊かで魅力ある元気な 新しいあんなか～さらに、光り輝くまちへ～」の実現に向け、下記に掲げる点について十分配慮されることを要望します。

1. 本計画については、市民の目線に立ち、市民の声を取り入れることで、市民とビジョンを共有する計画としている。引き続き、市民や関係団体などへの説明を十分に行い、計画の実現に向け、協働でまちづくりに取り組むよう努めること。
2. 本計画に位置付けられた各種施策については、情勢の変化や市民ニーズの変化に注視しつつ、適正かつ効果的な実施に向け、着実に取り組むよう努めること。
3. 本計画には、「安中市デジタル田園都市構想総合戦略」も含まれている。本計画と「安中市デジタル田園都市構想総合戦略」の施策や事業の実施については、進行管理及び評価・改善を的確に行う仕組みを確立し、計画の適正な進行管理に努めること。
4. 少子高齢化や人口減少など、安中市を取り巻く社会情勢が大きく変化する中、持続可能な地域社会の構築に向け、本計画を根拠としたまちづくりを推進し、子どもから高齢者まですべての市民が「住んで良かった」と思える安中市の実現に努めること。